



沖縄県立看護大学

Okinawa Prefectural College of Nursing



大学案内

2013年度版

CONTENTS

学長挨拶	1
大学の理念	2
新カリキュラム教育課程の編成	3
新カリキュラムにともなう新設科目	4
本大学の特色ある科目	5
教育科目の年次配置	6
資格取得要件と国家試験合格率	7
在学生からのメッセージ	8
学生支援・進路情報	9
卒業生からのメッセージ	10
卒業生の活躍	11
大学院	
教育理念と教育目標・教育課程の編成	12
教育分野・領域の概要	13
大学院生の紹介	14
別科助産専攻	15
平成 25 年度行事	16
施設の紹介	18
沿革、職員一覧	20
実習施設	21

沖縄県立看護大学の歌

作詞 新城正紀・作曲 林達郎

- 一、人々の生命の尊さ大切に
人のやさしさにふれあえば
看護の知識学びは深く
友と語りて師に励まされ
豊かな心で看護を学ぶ
我らが沖縄県立看護大学
- 二、地球に生きる生命を大切に
病める人々の声を聞く
珊瑚の海越え愛しみを広げ
世界に飛び立つ大志を抱け
広き視野もて看護を学ぶ
我らが沖縄県立看護大学
- 三、おだやかな陽ざしあふれる校舎は
そよ風吹きて木々ゆらす
色とりどりの花の癒し
小鳥のさえずりに日々励まされ
希望を胸に看護を学ぶ
我らが沖縄県立看護大学

学章について



人間が人間を支えていく人材を世に送り出す看護大学としてのイメージをNURSING(看護)の英語頭文字のNの文字によって人体をデザイン化し、シンボライズしました。

学長挨拶

沖縄県立看護大学学長 前田 和子

沖縄県は日本の最南端に位置し、広大な海域の中に人々が暮らしている大小さまざまな島が40も点在しています。沖縄県立看護大学の使命は、どんなに小さい離島や僻地であっても、そこに住む人々が、それぞれにとって最善の健康を増進、維持、回復できるように支援する自立した看護職者を育成することです。

平成25年3月現在、日本の看護系大学の数は209校となりました。また、法律が改正されて大学での保健師教育課程のあり方を各大学が選べるようになりましたが、本学は従来通り、4年間で入学者全員が看護師と保健師両方の国家試験受験資格を得られるカリキュラムを提供します。地域特性から沖縄県には両方の資格をもった視野の広い看護職者が必要であり、その養成は県立大学である本学の責務だと信じるからです。学部の助産師教育は選択制ですが、別科助産専攻も加えると毎年30名の助産師を育成しており、本県の助産師不足解消に貢献しています。教育の成果を上げるために平成23年度よりカリキュラムを抜本的に変更し、少人数教育やゼミナールなどこれまで以上に学生の自主性を尊重した教育方法の改善も進めています。



現在、看護系大学の147校(70%)に大学院修士課程が、71校(34%)に博士課程が設置されています。本学も平成16年度に大学院(博士前期課程と博士後期課程)を開設しました。平成23年2月には専門看護師(がん看護、精神看護、慢性看護、老年看護)教育課程の認可を受けました。さらに、平成23年度より先端保健看護分野に島しょ保健看護領域を追加し、本学の果たすべき使命に向かって大学院も着実に歩を進めています。

さらに進化し、県民の期待に応えるために、本学は地域の特性を活かし、国際的にも通用するケアのできる看護実践者や保健看護上の問題を自立して解決できる教育・研究者を目指す方々を求めています。

沖縄県看護大学の必要性

沖縄県の戦後の看護婦養成は、1946年に米国の指導によって開始され、質の高い看護サービスを提供し、また、保健医療サービスの恩恵の少ない離島・僻地を含めた県民の健康確保のために本県独自の制度として、保健婦駐在制度のような保健医療サービス体制を確立するなど、全国的に高い評価を受けてきました。

本県では人口の高齢化、島しょ性等から生ずる諸問題も多く、県民が安心して暮らせるための在宅看護や地域看護体制の確立等、研究を要する課題も多くあります。

このようなことから、地域看護に従事する保健師等の人材育成に大きな期待が寄せられており、従来にも増して地域管理計画及びその実践力、指導力、多種にわたる関係職種と有機的に連携しながら効果的な看護活動を展開するための調整能力等が求められています。その人材育成に当たって、県民性、地域性等、特有な文化の理解の上に立って、地域のニーズを反映した教育が必要不可欠です。

大学の理念

大学の使命

本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日状況および社会的要請、また、グローバル時代における人々の健康上のニーズおよび学生・院生の学習上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することです。すなわち、保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および実践の中核的機関として看護実践および学術的發展に寄与することです。

大学の教育理念・目標

< 教育理念 >

本学の教育理念は、設置の趣旨に基づき、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、多様化・国際化の進む社会で幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、人々の健康と福祉への貢献をめざす。

< 教育目標 >

1. 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を養う。
2. 幅広く学問を学び、知性と感性を高め、創造力を養う。
3. 看護の専門職に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を養う。
4. 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担うことのできる能力を養う。
5. 人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力を養うとともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を養う。
6. 研究的態度を身につけ、保健看護活動をとらして看護の発展に寄与する能力を養う。

アドミッションポリシー

本学の教育理念と目標の達成と実限に向けて、次のような資質と能力、意欲を持った学生を求めています。

1. 人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいと意欲を持った方
2. 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身に付けた方
3. 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方
4. 異なる文化に関心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方
5. 本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

●新カリキュラム教育課程の編成●

専門関連科目

統合科目

統合科目は、看護職者として倫理観を持ち、自らを律し、他者と連携し専門職者として看護の役割を担う能力を養うための科目群である。また、統合的な学習経験と創造的思考により質の高い看護を実践する能力を身につける。そして、看護職者として社会的責任を果たすために、生涯学習能力を養う。

生涯発達看護科目

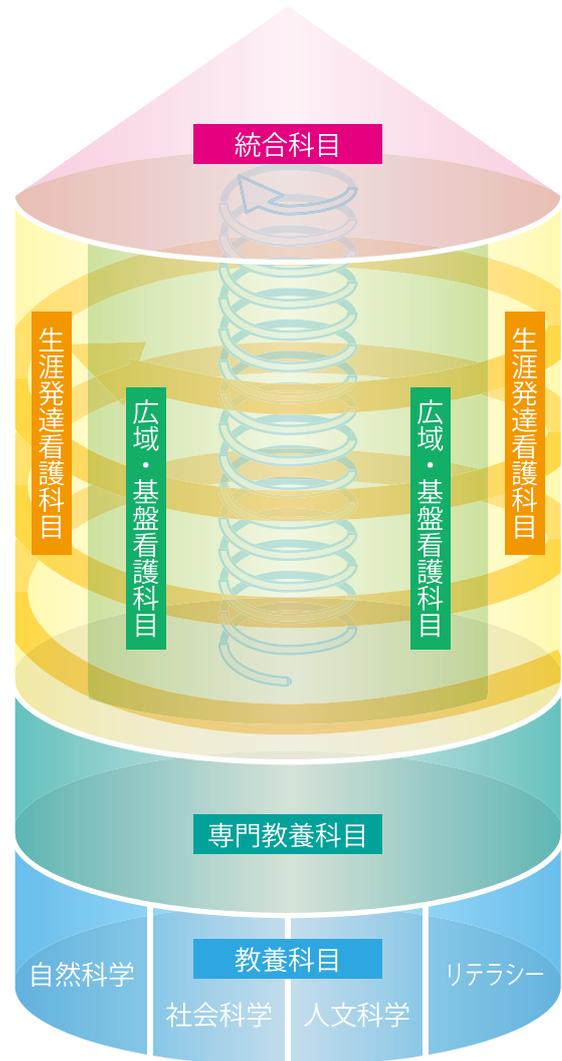
生涯発達看護科目は、一人の人間が生を受けてから死ぬまでの生涯にわたる各発達段階、すなわち周産期、小児期、成人期、老年期の各期にある対象の特徴に応じて、家族も含めて適切な看護を実践する能力を養う科目群である。

広域・基盤看護科目

広域・基盤看護科目は、看護実践の基礎として、またあらゆる発達段階の人々の看護に共通して必要な知識・技術・態度を学ぶ科目群である。また、多様な生活や治療・療養の場における多様な対象者に健康へのアプローチを、身体的・精神的・社会的な側面から看護を実践する能力を培う。また、家族・集団を加えたコミュニティの特徴を学び、場と対象に応じた看護を実践する能力を培う。

専門教養科目

専門教養科目は、保健看護をより広く、科学的に学習していく準備として習得せねばならない科目群から構成されている。これらの科目は看護学周辺領域の学問、すなわち医学、保健学、社会学、心理学、リハビリテーション等の基礎的知識や技術であり、人間の健康を身体的・精神的・社会的な側面から多面的に捉え、科学的根拠に基づく判断力を養う科目群である。また、地域社会における健康を論理的に思考するために活用される知識・技術も学習する。



教養科目

教養科目は、広く人間を理解する科目、自然現象を理解する科目、社会のしくみを理解する科目、及び生命の尊厳を尊重する科目で構成され、幅広く学問を学ぶことにより、社会に求められる市民にふさわしい知性と感性を高め創造力を養う科目群である。また、沖縄の歴史、文化、芸能などを通して人間のおかれた地理的文化的特性を理解するとともに、情報化社会や国際社会に対応できるように学際的学びの基礎をつくる。

新カリキュラムにともなう新設科目

(一部抜粋)

早期体験実習

看護実践の場または地域において、看護職者の仕事を観察し、自由に対話する中から、また看護を必要としている人々やその他の医療従事者、関連職種との対話から、さらに学生同士の討論や役割モデルとなる看護職者の口演などを通して、看護という職業の意義や社会における期待、必要性、そして今後の職業的準備のあり方について学習する。



身体活動論

QOLを高めるために必要な個人的資源としての「心身の健康」について考え、身体活動とエネルギー代謝、発育や加齢に伴う身体活動の特徴や、活動量の評価法など、科学的な視点に立って、個人にとって適切な自立的身体活動の実施と継続の諸条件と方法を広く学習する。



ヘルスアセスメント

個人の健康状態を全人的に理解するために必要なヘルスアセスメントの概念と枠組みを学ぶ。さらにフィジカルアセスメントに焦点をあて、フィジカルアセスメントに関する基本的な知識、技術と態度を学ぶとともに、ライフサイクル各期に特有の方法と留意点についても演習を通して具体的に学ぶ。



専門看護職論 I

大学で看護学を学ぶ意味について考え、沖縄の看護の歴史と本学の建学の精神、教育理念、教育目標を理解する。さらに、看護の歴史と専門職看護の概念と現状を概観し、人々の健康を守る社会活動の中の看護職の役割と関連他職種との協働・連携について学ぶ。



本大学の**特色**ある科目

島嶼保健看護

島嶼の人々を、その背景となる地理、歴史、文化、経済 およびそこから培われた生活をとおして総合的に理解し、これまで学んできた健康の概念と人々の生活との関連性および島嶼における疫学的動向と対策の理解を深め、また健康の全ての段階において保健医療福祉が連携によって果たす役割と看護支援のあり方について理解する。



国際保健看護

国際的視野から諸外国の地理的環境、歴史、文化、経済、医療政策、疫学的動向と対策、保健看護事情と人々の生活を理解し、日本国内に在住する外国人の背景と現状を理解する。それらから健康に影響を与える要因および保健医療福祉が果たす役割について考察できる。



沖縄の生活と文化

世界における「文化の多様性」の基本的理解の上に、沖縄に暮らす個人ならびに共同体がもつ強みと弱みをグローバルな視点からとらえることができるように、沖縄の「歴史や文化」と現代社会において沖縄の人々の生活を支える「地域の社会心理的特性」との関わりについて学習する。



看護大学ゼミナールI

学生が身近に感じている問題を取り上げ、その解決に主体的に取り組む過程を通して、自らを総合的に振り返り、客観的に自分の強みと弱み、そして能動的学習能力に気づく。また、問題の発見と解決のための必要なあらゆる情報収集、図書・文献検索、論文読解、報告書作成、およびチームワークの基本を学ぶ。この科目は少人数性教育により行い、情報リテラシーを身につける。



教育科目の年次配置

学年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学期	前期	後期	前期	後期
教養科目	生物学、化学、数学 沖縄の生活と文化 法学、心理学、文学 英語 I 看護大学ゼミナール I	環境学、社会学 教育学、英語 III 中国語 I スペイン語 I	地理学、経済学 情報学、哲学、歴史学	
専門関連科目	看護学原論 看護専門職論 I 疫学と保健医療情報 身体活動論 人体の構造と機能 人間関係論	ヘルスアセスメント 生活援助・療養援助技術 II 精神保健看護 I 地域保健看護 I 周産期保健看護 I 小児保健看護 I 成人保健看護 I 老年保健看護 I 病態生理	生活援助・療養援助技術 III クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護 II 地域保健看護 III 地域保健看護 II 周産期保健看護 II 小児保健看護 II 成人保健看護 II 老年保健看護 II 保健医療福祉制度 身体活動論 人体の構造と機能演習 II リハビリテーション論	助産実践論 基礎助産学 助産診断・技術学 (選択) クリティカル・緩和ケア演習 地域保健看護演習 老年保健看護演習 島嶼保健看護 国際保健看護 看護専門職論 II 看護卒業論文 看護総合演習
第 1 段階	実習 早期体験実習	生活援助・療養援助技術演習 精神保健看護実習 I 周産期保健看護実習 I 小児保健看護実習 I 成人保健看護実習 I	精神保健看護実習 II 周産期保健看護実習 II 小児保健看護実習 II 成人保健看護実習 II	地域保健看護実習 II 在宅保健看護実習 看護総合実習
第 2 段階	地域保健看護実習 I 老年保健看護実習 I	家族社会学演習 ストレスマネジメントと健康教育 臨床薬理 看護大学ゼミナール II 疾病論 I 疾病論 II	生活援助・療養援助技術演習 周産期保健看護演習 小児保健看護演習 成人保健看護演習 看護大学ゼミナール III ウイメンズヘルスサイエンス (選択)	クリティカル・緩和ケア実習 老年保健看護実習 II 〔産実習〕(選択)
第 3 段階				
第 4 段階				講義 演習 卒業演習 医療と倫理

資格取得要件と国家試験合格率

資格取得要件

	看護大学	看護専門学校
取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護師国家試験受験資格 ● 保健師国家試験受験資格 ● 助産師国家試験受験資格 <small>* 助産師課程がある大学において所定の科目を履修した場合</small> <ul style="list-style-type: none"> ● 保健師資格を取得し、所定の科目を履修した者は申請により養護教諭二種免許が取得可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護師国家試験受験資格 (保健師・看護師統合カリキュラム校は保健師国家試験受験資格も取得可能)
修業年限	4年	3年 (定時制、統合カリキュラム校の場合は4年)
卒業までの単位数	124単位以上	93単位以上 (統合カリキュラム校の場合は111単位)
修了者に対する称号	学士	学校によって 専門士の称号が付与される
学位取得と 大学院への進学	<ul style="list-style-type: none"> ● 学士の学位取得可能 ● 大学院への進学可能 	<ul style="list-style-type: none"> ● 合計124単位以上を履修すれば「大学評価・学位授与機構」により学士の学位取得可能 ● 大学院への進学可能

* 沖縄県立看護大学の場合は、卒業に必要な130単位以上、助産師の国家試験受験資格を得るためには、加えて20単位の履修(履修できるのは一部の学生のみで選考により決定される)が必要です。

国家試験(看護師、保健師、助産師)合格状況の推移

【看護学部】平成14年度卒業生(1期生)～平成24年度卒業生(11期生)

平成25年4月現在

実施年度	期	看護師				保健師				助産師			
		受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)
平成14年度	1期生	71	70	98.6	92.6	71	66	93.0	91.5	9	9	100.0	89.2
平成15年度	2期生	80	75	93.8	91.2	80	69	86.3	92.8	4	4	100.0	92.6
平成16年度	3期生	79	77	97.5	91.4	79	71	89.9	81.5	7	7	100.0	99.7
平成17年度	4期生	78	76	97.4	88.3	79	65	82.3	78.7	5	5	100.0	98.1
平成18年度	5期生	79	77	97.5	90.6	78	78	100.0	99.0	10	10	100.0	94.3
平成19年度	6期生	81	79	97.5	90.3	81	76	93.8	91.1	10	9	90.0	98.1
平成20年度	7期生	74	68	91.9	89.9	74	72	97.3	97.7	7	7	100.0	99.9
平成21年度	8期生	74	72	97.3	89.5	74	60	81.1	86.6	5	5	100.0	83.1
平成22年度	9期生	78	78	100.0	91.8	78	76	97.4	86.3	10	9	90.0	97.2
平成23年度	10期生	77	75	97.4	90.1	77	74	96.1	86.0	10	10	100.0	95.0
平成24年度	11期生	83	81	97.6	88.8	83	81	97.6	96.0	10	10	100.0	98.1
合計		854	828	97.0	90.4	854	788	92.3	89.7	87	85	97.7	95.0

在学生からのメッセージ

私は、両親が2人とも医療従事者であることをきっかけに医療に興味を持ち始め、人と関わるのが好きということから看護師を目指すようになりました。そして、将来は私が生まれ育ったこの沖縄に看護職者として恩返しをしたいと思い沖縄県立看護大学を受験しました。

この大学では、講義内や実習後にはグループを作って一人一人の意見を交換し、グループでまとめた意見を全体で発表するという場が多いので、普段からたくさんの人の意見を聞くことができ視野を広げることが出来ます。また、看護大は単科大学のため学生の人数は少ないのですが、その分学生同士の繋がりが強く、日々励まし合いながら互いに成長できる環境があります。学業以外には球技大会や渡嘉敷研修、看大祭などのイベントやサークル活動が盛んに行われており、先輩と後輩、学生と先生方との交流の機会もあります。

大学では、勉強はもちろんのことサークルやその他の活動を通して多くの経験を積み、とても充実した学生生活を送ることが出来ます。是非皆さんも沖縄県立看護大学と一緒に楽しく看護職者を目指しませんか。



2年次

町田 千洋

まちだ ちひろ

私は、助産師として働く叔母の影響を受け、助産師になりたいと思うようになりました。そして、沖縄県立看護大学に進学することを決めました。私は推薦入学であり、入学してから勉強についていけるかとても不安がありました。入学式までは、新しい環境の中で、どういった学校生活がまっているのかなど期待と不安で一杯でした。

看護大学に入学して、同じ夢・目標を持った仲間と、わいわいと楽しい日々を過ごしています。不安だった勉強面も、先輩方からの時間割の組み方や勉強法のアドバイスのお陰で、無事クリアすることができました。何よりも一緒に入学した仲間と共に、お互いに切磋琢磨しながら、知識を深めています。

大学生活において重要なことは、友人や先輩方、先生たちと積極的に関わることで、自分自身の成長に繋がると 생각합니다。同じ夢をもった仲間と一緒に過ごす日々は、とても楽しいです。実習は、とても厳しくきつけれど、同じ実習グループのみんなで励まし合いながら実習を乗り越えることができました。

今年度からは、念願であった助産コースに入り、更に多忙な日々を過ごすこととなりますが、自分の夢に向かって仲間と共に頑張りたいと思います。



4年次

石川 綾乃

いしかわ あやの

出身都道府県別在籍者数

平成25年4月現在

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	計
男																	
女	2			1									1				
小計	2			1									1				
	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	計
男											1	1					
女												1					
小計											1	2					
	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他	計
男															43		
女								2	1	6	1	3	1	2	257		278
小計								2	1	6	1	3	1	2	300		323

年次別・県外県内別・在籍者数

平成25年4月現在

	県内	県外	男	女	小計
1年次	78	3	10	71	81
2年次	78	5	11	72	83
3年次	71	8	15	64	79
4年次	73	7	9	71	80
計	300	23	45	278	323

平成25年度入試形態別入学者数(受験者数・受験倍率)

平成25年4月現在

募集区分	定員	入学者						受験者	
		入学者数	男	女	県内	県外	受験者数	倍率	
一般選抜	前期日程	50	50	7	43	47	3	165	3.3
	後期日程	10	10	2	8	10	0	60	6.0
特別選抜	一般推薦	20	19	1	18	19	0	34	3.2
	地域推薦		0	0	0	0	0	4	
	社会人特別選抜		1	0	1	1	0	26	
計	80	80	10	70	77	3	289	3.6	

充実した教育と快適な学生生活をサポートする

学生支援・進路情報

1. 修学に関する支援

- 修学相談
担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。
- 国家試験対策講座の開催（8月、12月、1月）
- 異学年との交流

2. 学生生活に関する支援

- 学年別ガイダンスの開催
毎年4月にガイダンスを実施し「学生生活の心得」のパンフレットを配付し学生生活に必要な情報提供を行っています。

3. 進路・就職に関する支援

進路決定への手引きを配付し、就職セミナー開催や進学に関する情報提供を行っています。

4. 健康に関する相談

- 心身の健康に関する相談
保健室では健康相談の窓口として健康増進、疾病予防をすすめています。また、スクールカウンセラーの導入で、学生の心身の健康に関するサポートを行っています。



3.4年次交流会の写真



新年度のガイダンス風景

奨学金・学費情報

1. 奨学金について

奨学金は、人物・学業優秀な学生が、経済的な理由により就学困難と認められている場合に、学資として貸与される制度です。

本学で現在主に取り扱っているものは…

1. 独立行政法人日本学生支援機構奨学金 / 第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（有利子）
2. 沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（無利子）
3. 病院からの奨学金制度の活用
4. その他各市町村や各種団体からの奨学生の募集があります

* 応募にはいろいろな応募資格や条件があります。詳細は学務課に問い合わせ確認して下さい。

2. 入学金・授業料について（平成25年度現在）

1. 入学金：282,000円（県内） 512,000円（県外）
授業料：535,800円（県内外）

2. 授業料等の減免制度

天災その他不慮の災害及び生活保護法等により、学資の負担に堪えられなくなった場合、授業料等の減免制度があります。詳細は学務課に問い合わせ確認して下さい。

卒業生からのメッセージ



地方独立行政法人
那覇市立病院 外科病棟
がん看護専門看護師

大学:2期生卒業
大学院:博士前期課程6期生修了

吉澤 龍太
よしざわ りゅうた

大学を卒業し那覇市立病院へ就職、気づけば9年が経過しました。現在、私は外科病棟で勤務しながら、院内の緩和ケアチームを主にがん看護、緩和ケアに携わらせていただいています。そして、去年の冬、念願であったがん専門看護師となることができました。

専門看護師になるには、大学卒業後、2~3年間の大学院へ修学することが必要とされます。大学院終了後、臨床現場での実績報告による審査や筆記試験を受け、合格することで専門看護師となります。ここだけ見ると、私は向上心があり、志を高くキャリアを積み上げたようにみられますが、実際は違います。

就職して数年が経過し、慣れと経験だけで何となく看護師という仕事をしていた自分の生活に「果たしてこのままでいいのか?」という焦りを感じたことがきっかけです。振り返ってみると、何か熱中できるものを求めていたのだと思います。

さて、大学院で学ぶことで、私がこれまで何となくやってきた看護一つ一つの意味や重要性を改めて実感することができ、そして曖昧であった患者さんの心理や言動の背景にある苦悩を理解することができました。人は未知なことや理解できないことに対応する時にストレスを感じます。実際、大学院で学ぶ前の私も臨床で患者さんの苦悩や言動の真意を理解できずに曖昧な対応しかできない自分にストレスを抱えていました。しかし、大学院で学ぶことでストレスなく対応することができ、今では身体的・心理社会的に多くの苦痛を抱えるがんの患者さんに対しても積極的に関わるできるようになりました。

これから看護師を目指している皆さんにお伝えしたいことは、実習やそしていつか臨床で多くの困難な場面に出くわすと思います。それらの困難を乗り越えるためには「学び」を続けることが一番の解決策であると思います。いつか皆さんと働くことができれば、共に学びを積み上げ、共にステップアップしていきたいと思っています。



名嘉村クリニック在宅ケアセンター
浦添訪問看護ステーション伊祖
大学院博士前期課程 進学

大学:8期生卒業

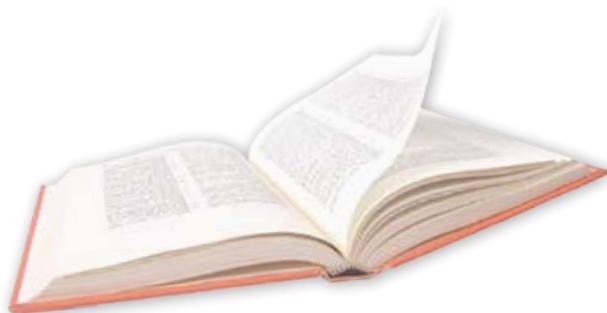
下地 葉月
しもじ はづき

私は3年前に沖縄県立看護大学を卒業しました。学生の頃から高齢者、特に認知症高齢者ケアに興味があり、認知症高齢者が幸せに暮らせる社会づくりに貢献できる人材になることが私の夢でした。卒業後、奨学金を頂いていた県外の急性期病院に就職しました。病棟では、認知症高齢者が拘束されている姿、慣れない環境に戸惑い不穏になっている姿、悲しそうな表情をする姿に出会い心が痛みました。しかし、その場面を回避するためのケアを持ち備えておらず、自分自身に敗北感に襲われる日々でした。

今の病棟で継続して経験を積むことで、認知症高齢者へのケアが具体的に展開でき、看護実践が向上するのだろうか?と疑問を抱いていた矢先に、大学院で学ぶ情報を入手しました。認知症高齢者ケアを専門的に学び、老人看護専門看護師になるために、大学院への進学を決めました。現在、博士前期課程 老年保健看護分野において実践老年保健看護について学んでいます。

今は仕事と学業の両立の難しさを感じる毎日ですが、認知症高齢者を笑顔にできる私になるため、日々努力していきたいと思っています。

これから看護職を目指す皆さんも、自分の夢を達成するために頑張ってください。



大学院

保健看護学研究科

教育理念と教育目標

グローバル化時代と少子・高齢社会、高度に専門・分化した保健医療福祉サービス体制の中で、看護ケアを受ける側の立場に立って高い見識と専門的知識・技術・態度で高度な看護ケアを立案、実施、評価できる看護実践者及び行政、経営・管理面における看護専門職者の果たす役割、教育者の役割は増大している。

本大学院は、このような時代や社会の要請に対応できる専門職業人のリーダーとして高度のケアを実践できる専門看護師等実践家、看護の管理者、学習や教育の原理を統合して看護教育に応用する教育者、研究活動によって新しい看護知識の創出に貢献する研究者、保健看護活動を通して新しい学問の創出に貢献できる人材の養成を目指している。上記目標を達成するために、当大学院では看護職を続けながら大学院で学べるよう、大学院設置基準第14条特例により夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができると定めている。

教育課程の編成

1) 分野および領域の構造

本研究科は、グローバル化、少子・高齢化、IT化、価値の多様化に伴って、人々の保健看護上のニーズに著しい変化があり、それらの課題に対応する質の高い看護職者に必要な教育課程である。

教育研究分野として3分野（文化間保健看護、生涯発達保健看護、先端保健看護）を設定し、その他にコア科目を設けて、コアカリキュラムとしている。

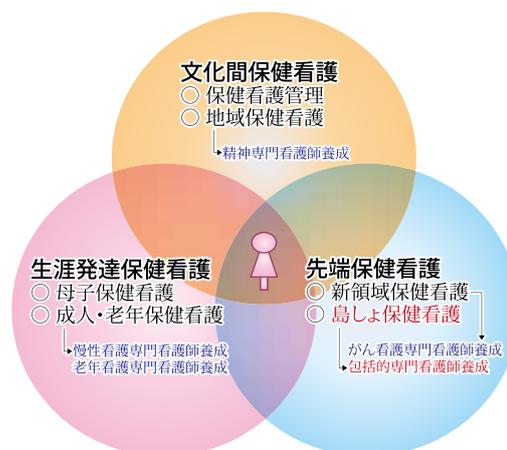


図 3分野6領域の構造

2) 分野および領域の特徴

博士前期課程と博士後期課程の双方に共通する3分野6領域である。すなわち、文化間保健看護、生涯発達保健看護、先端保健看護の3分野と保健看護管理、地域保健看護、母子保健看護、成人・老年保健看護、新領域保健看護、島しょ保健看護の6領域から構成されているが、両者は教育研究の深さと広さが異なる。

文化間保健看護分野は、保健看護管理と地域保健看護の2領域からなり、国内外のこれらの領域における知識と技術をマクロ及びミクロの視点から多重文化を軸として保健看護上の看護実践的問題解決のため、病院、施設あるいは地域において実践、教育・研究する。

生涯発達保健看護分野には、母子保健看護、成人・老年保健看護の2領域があり個人の出生前から死までの時間を軸として人生コースにおける保健看護の実践、教育・研究をすることを特徴としている。

先端保健看護分野には、新領域保健看護、島しょ保健看護の2領域があり、沖縄県の離島やへき地という地域に立脚して情報を活用しての保健看護活動、遠隔教育、先端医療に伴う看護ケア、島の地域づくりなどの実践、教育・研究を行う。

平成21年度から4分野（精神看護、慢性看護、老年看護、がん看護）の専門看護師教育を開始している。

平成21年度から長期履修学生制度が利用できる。

教育研究分野・領域の概要

分野	領域	博士前期課程	博士後期課程
文化間保健看護	保健看護管理	<p>特定「文化」をキーワードとしてマクロレベルでの新興感染症への対策、ミクロレベルでの生活習慣と価値観の異なる人々の健康生活に向けた管理的貢献、プライマリー・ケアを重視した行政的施策と費用効果、病院・病棟の疾病管理と人々の健康管理など実践的看護管理活動を分析・評価し、複雑化した課題に対応できる卓越した実践家、教育研究者養成に必要な能力の向上を図る。</p> <p>看護を取り巻く社会や科学の発達に対応して変化・発展する看護観及び看護技術が、看護者個々や集団においてどのように形成され修得されるかを学ぶ。さらに、看護基礎教育及び現任教育における教育方法の開発、看護実践における看護者の教育能力開発の方法を探究し、看護基礎教育の担い手である人材の育成や保健看護分野における実践者の教育指導能力の向上を図る。</p>	<p>文化間保健看護の立場から、特定「文化」の枠組に基づき国境を越えて個人、地域、国レベルで健康上の問題解決、新しい保健看護管理の探求、また、通文化的、あるいは特異的ヘルスケア評価、公的サービスと調整、看護ケアのコスト及びコスト効果分析（ケアの結果と質の測定）など高いレベルの分析・評価と対応策を探求する。</p> <p>保健看護実践および教育が多様な文化の影響を受けながら発展すると共に、文化へも影響を与えることを前提にした広い視野を持つ、高いレベルの保健看護教育の実践者および看護学の発展に寄与する人材育成に関する理論を探求する。</p>
	地域保健看護	<p>地域社会及びハイリスク集団を対象とした施策、計画、実施、結果、評価について学習する。また、ミクロのレベルでは地域で健康上のリスク者への保健看護実践、ヘルスプロモーション、健康教育（疾病教育）などにおいて適切な研究的アプローチを行い、最近の知識を応用し、問題解決のためリーダーとなる能力の向上を図る。</p> <p>精神保健相談時の受取面接、コンサルテーションなど専門的技術を身につけ、また、サービスの質向上のために先行研究結果を実践に応用し、活用する実践家、あるいは教育研究者となる能力の向上を図る。また、専門看護師（精神看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>上級管理者など、より高度な立場から実践活動に従事、複雑な研究テーマへの取り組み、博士前期課程の教育を行う教育者、あるいは自立した研究者として新たな学術的発展を図る。</p> <p>文化的枠組みで人々のメンタルヘルスおよびリスク者や集団のために法律・政策、条例の制定などにより高度な学術的観点から提言、同時に学術的、教育的貢献を図る。</p>
生涯発達保健看護	母子保健看護	<p>卓越した専門家として病院・地域で妊産婦や新生児及び家族に高度な専門的ケアの提供、母性の問題解決のため学際的チームの調整的役割、リプロダクティブ・ヘルス/ライツへの適切な支援の提供、ハイリスク女性・妊婦・新生児の評価と支援、実践的専門家としての指導者、あるいは教育研究的能力の向上を図る。</p> <p>高度な専門看護職者として、それぞれの職場の保健看護システムの中で小児保健看護上の課題を認識し、質の高いケア提供を計画、実施、評価し、指導的役割を果たし、また、疾病の有無にかかわらず子どもの発達状態の評価と支援技術、ケア提供の医療環境/制度に関する実践可能な好ましい方策を実施を図る。</p>	<p>母性保健看護及び助産に関して、生涯発達の視野に立ち課題をみつけ、実践・分析、評価、統合し、知見創出により実践的及び教育的、学術的に母性の健康と看護学の発展を図る。</p> <p>子どもと家族の健康上の課題の解決に既存の研究結果を応用、新たな研究課題の発見、計画・実施・評価し、新しい実践的、学術的、教育的貢献を図る。</p>
	成人・老年保健看護	<p>成人期のヘルスプロモーション、健康政策、疾病予防、リスク軽減及び急性期・慢性期の高度なケアの実践と改善、学際的な研究的活動、また、医療システムと成人期患者ケアの質の分析と評価、中間管理職のレベルで看護の質向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（慢性看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>老年保健看護領域で、直接的なケアプランの作成と提供、ケア提供チームにおける看護実践と管理、ケアの評価とを統合・調整できる老年保健看護専門職者、同時に研究能力の向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（老年看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>特に遠隔教育などの積極的活用によって他職種と連携し、上級管理職のレベルで医療・保健機関の管理、教育的機関での教育的活動、また、複雑なケース・マネージメントの実践、高度な学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>高齢者のケアの質とQOL向上に向けて年代、時代にふさわしい新たな研究と知の創造をめざし看護職の立場から方法、技法の開発、実践現場への支援、自立した教育研究による学術的な貢献を図る。</p>
先端保健看護	新領域保健看護	<p>上記特定の領域に分類できない、あるいは共通する新たな看護上の課題解決方法、技術、看護上の新たな課題への研究的アプローチ、例えば臓器移植看護とそのコーディネーターとしての役割、遠隔保健看護の実践・教育研究に必要とされる知識と技術などの向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（がん看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>保健看護上に新たに生じた課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集し、分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、看護実践における質の向上を図る。また、各領域に共通する新たな課題をみつけ解決する先端的研究方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上の新たなニーズへの対応策を探求する。</p>
	島しょ保健看護	<p>島しょ看護の高度な実践ならびに実践的教育ができる看護指導者を育成する。保健・医療福祉専門職者が少ない島しょ地域において、看護職者が果たす役割は大きい。特に保健医療福祉、教育・行政などの幅広い多職種ケア連携・協働による保健医療福祉活動を通して、島しょ住民の生活文化に根ざした看護を実践できる高度な島しょ看護専門能力を育成することを目指す。</p> <p>また、包括的専門看護師に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>国内外の島しょ看護上の課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、島しょ看護実践における質の向上を図る。また、島しょ保健看護に関する新たな課題をみつけ解決する方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上のニーズに対応する新たな対応策について探索する。</p>

大学院生紹介

私は、現在石垣島にある八重山病院に勤務しており、平成 25 年度より前期課程の島しょ保健看護領域で学んでいます。

八重山諸島の中核病院である八重山病院は、新生児から老人、また急性期から慢性期、終末期にある様々な状態の患者さんを対象に看護をします。それゆえに、私たち看護師は幅広い知識や技術を求められます。

そのため、島しょ看護についての学問を開いている、本大学に入学することでさらに患者さんに提供できるケアの幅が広がられるのではないかと思います、上司の勧めもあり受験することにしました。

本大学では遠隔通信 (ICT) を利用した講義が行われているので、離島の病院に勤務しながら講義を受けることができ、移動にかかる、時間や経済的な負担が軽減します。

集中講義や演習では、大学に登校し先生方や、大学院で学ぶ仲間と会う事で、さらに知識を深めることができるとともに、学ぶ楽しさや悩みを共有できるのではないかと思います。

また、本大学では社会人のための長期履修制度があり、講義は夜間や土日に行われているため働きながら学ぶことができます。働きながら疑問に思ったことを、理論的に解決することができるように、講義で学んだことを実践で活用することができ、今後より良いケアを患者さんに提供できるのではないかと思います。



博士前期課程

島しょ保健看護領域
(包括的保健看護)
砂川 はつき
すなわ

私は大学卒業後、9 年間の臨床経験を経て本学に助手として着任いたしました。仕事をしていく中で教育や研究に対する基礎知識の不足を痛感する場面を多く体験しました。それがきっかけとなり教育方法や研究能力を養うことの必要性を痛感し、博士前期課程に入学しました。前期課程では、課題を見つけ、それを明らかにしていくために必要な基本的な研究のプロセスについて学ぶことができました。自分の研究疑問を明らかにしていく過程を通して、研究のおもしろさと奥深さにふれ、さらに学びを深めたいという意欲が出てきました。そのような時に教員研修に参加する機会をいただき、ハワイにおける看護教育の実際をみることができました。目標に向かって主体的に学ぶ学生の後ろには生涯学習者としてのモデルを自ら示している教員の存在があることに気づかされ、博士後期課程への進学を決意いたしました。

後期課程では、専門職として学び続けるモデルとなれるよう、また子育てで支援に寄与できるような課題に取り組んでいきたいと考えています。

仕事と親業、学業との両立に不安も多くありますが、何故学ぶのかを自分に問いながら初心を忘れることなく、挑戦する者に道は開かれることを信じ、仲間と学び合い、自己研鑽に努めていきたいと思っています。



博士後期課程

母子保健看護
西平 朋子
にしひら ともこ

沖縄県立看護大学大学院年度別入学生状況

		出身		性別		入学者計
		県内	県外	女性	男性	
平成16年4月入学生 (1期生)	博士前期	5	1	5	1	6
	博士後期	2	0	1	1	2
平成17年 (2期生)	博士前期	5	4	8	1	9
	博士後期	0	2	2	0	2
平成18年 (3期生)	博士前期	6	0	6	0	6
	博士後期	1	1	2	0	2
平成19年 (4期生)	博士前期	7	0	6	1	7
	博士後期	0	2	2	0	2
平成20年 (5期生)	博士前期	5	2	7	0	7
	博士後期	2	1	3	0	3
平成21年 (6期生)	博士前期	8	0	7	1	8
	博士後期	4	0	3	1	4
平成22年 (7期生)	博士前期	9	0	9	0	9
	博士後期	3	0	3	0	3
平成23年 (8期生)	博士前期	6	0	6	0	6
	博士後期	1	1	1	1	2
平成24年 (9期生)	博士前期	8	0	8	0	8
	博士後期	1	0	1	0	1
平成25年 (10期生)	博士前期	9	0	9	0	9
	博士後期	1	1	2	0	2
合計	博士前期	68	7	71	4	75
	博士後期	15	8	20	3	23





別科助産専攻



別科助産専攻開設の趣旨

沖縄県の新生児死亡率や周産期死亡率、死産率は全国平均と比較して高率であることから、本島内に2カ所の周産期高度医療を担うセンターが開設され、母子医療の改善が図られている。しかし、マンパワー不足に起因する問題が発生している。それは産婦人科医師の不足による公立病院産科の存続の危機、産科病院や診療所の助産師不足による助産および母子へのケア提供不足の状況である。さらに多くの有人離島を抱える本島では、離島妊産婦へも必要な母子保健医療の提供が求められている。これまで本県の産科施設では正常、異常に関わらず妊産婦管理は医師が中心的役割を担っていたが、産科医師不足により、今後は正常な妊産婦の保健管理・助産に助産師の主体的産科が期待されている。

教育目標

- ① 沖縄県の抱える課題に応じ、母子の健康を守るとともに、現状を改善する能力を養う。
- ② ライフサイクル各期の女性に対し、母性保健の視点から健康の保持増進の援助ができる能力を養う。
- ③ 助産師として自立するとともに、他職種との連携やチームアプローチを通し、専門職業人としての沖縄県の母子医療に貢献できる能力を養う。
- ④ 科学的根拠に基づいた助産ケアが提供できるよう自らを教育できる能力を養う。

カリキュラムの概要

修業年限1年



国家試験合格率

平成 20 年度	19 人	100 %
平成 21 年度	15 人	75.0%
平成 22 年度	18 人	94.7%
平成 23 年度	19 人	100 %
平成 24 年度	19 人	100 %

主な実習施設

アドベンチスト・メディカルセンター
医療法人がじゅまるの家 糸数病院
医療法人海秀会 上村病院
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院
沖縄県立中部病院
沖縄赤十字病院
かみや母と子のクリニック
久米島町役場
公立久米島病院
たから産婦人科
医療法人友愛会 豊見城中央病院
特定医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院

主な就職先

沖縄県立病院
沖縄県内公立病院、総合病院
産婦人科系病院、診療所など

学生の紹介



別科助産専攻
新高 美和子
にいたか みわこ

私は助産師になることを志し、看護学校を卒業して別科助産専攻へ進学しました。1年間の短いカリキュラムではありますが、前期では助産の基礎から学び、助産診断、技術演習や授業の中でプレゼンテーション用の資料の作成や発表を行い、実践できる能力を養っています。後期の助産実習では実際に分娩介助や教育・指導も行う予定であり、今からとてもワクワクしています。課題やグループ学習もあり、助産師国家試験合格に向けて仲間たちと自己を高めあいながら取り組んでいます。家庭と学業の両立は厳しいですが、家族や友人、別科助産専攻で出会った仲間、先生方と支えあって乗り越えていきたいと思っています。この1年間で助産師に必要な知識・技術・態度を身につけ、沖縄県の母子保健医療に貢献し、「2人目もまたお願いします。」と言われる助産師になれるよう頑張っていきます。



平成25年度行事

4
APRIL

入学式
▶ 4/3(水)

前期授業開始
▶ 4/8(金)

学生交流会
▶ 4/26(金)



入学式

5
MAY

渡嘉敷研修
▶ 5/11(土)

開学記念
▶ 5/15(水)



6
JUNE

オープンキャンパス
▶ 7/27(土)



オープンキャンパス

7
JULY

夏季休業
▶ 8/19(月)～
9/30(月)

海外研修セミナー
(ハワイ)
▶ 8/18(日)～
9/6(金)



8
AUGUST

大学院入試
▶ 9/14(土)

第15回看大祭
▶ 9/21(土)・22(日)



看大祭

9
SEPTEMBER

楽しいサークル みんなイキイキ キャンパスライフ!



美ら笑ば～

障害や病気をもつ子どもたちとその家族が遊びを通して多くの人とふれ合い、様々な体験をすることで喜びや楽しさを感じることができるよう支援しています。



学生ちゃんぶる～

私たちは、学生と教員みんなで仲良くなるをモットーに、映画鑑賞・学生と教員の交流会・調理実習・研修の企画(離島・県外)・学生ちゃんぶる～通信の発行等をやっています!



性・命の達人 キラリサークル

平成22年度から活動しています。妊娠・出産、性感染症、避妊、デートDVなどに関する展示物や体験コーナーを通して、近隣大学や中学校、離島など地域に情報発信するサークル活動を展開しています。



バドミントンサークル

皆でバドミントンをしながら交流を図ったり、ストレスを発散することを目的に活動しています。ほとんどが初心者なので気軽にご参加下さい。



テニスサークル

初心者も大歓迎!! 看護大学一番カッコイイ顧問。大学にテニスコートがないので、近くのコートを借りて20人くらいで活動しています。



演劇サークル

後夜祭や謝恩会などで演劇を披露しています!メンバーは全員演劇初心者ですので、誰でも気兼ねなくご参加下さい。

10
OCTOBER

11
NOVEMBER

12
DECEMBER

1
JANUARY

2
FEBRUARY

3
MARCH

後期授業開始
▶ 10/1(火)

特別選抜入試
(看護学科)
▶ 11/16(土)

推薦選抜・
社会人特別
選抜入試
(別科助産専攻)
▶ 11/16(土)

卒業論文発表会
▶ 12/13(金)

冬季休業
▶ 12/25(水)
~ 1/7(火)

大学入試
センター試験
▶ 平成 26 年
1/18(土)・
19(日)

一般選抜入試
(別科助産専攻)
▶ 2/12(水)

一般選抜入試
(前期・看護学科)
▶ 2/25(火)

一般選抜入試
(後期・看護学科)
▶ 3/12(水)

卒業式
▶ 3/15(土)

春季休業
▶ 3/15(土) ~
3/31(月)



卒業論文発表会



卒業式



三味線サークル

週に1回、午後5時半から三味線の練習をしています。メンバーのほとんどが初心者から始めています☆沖縄の文化に触れてみるいい機会ですよ♪



軽音楽サークル

音楽のジャンルにこだわらず楽しく活動をしています。それぞれが演奏したい楽器を持ち込んで自由にバンドを組んでいます。看大祭では毎年、ライブ演奏を行っています。



アジア保健医療研究会

主な活動内容は、世界で活躍している専門家による講演会の開催、海外で活躍した学生の報告会などを通して、国際保健医療に関する理解を深めます。



マラソンサークル

あやはしハーフマラソンや伊江島一周ハーフマラソン、那覇マラソンそしておきなわマラソンと一年を通してさまざまなマラソンにみんなで楽しく参加をしています。



野球・球技サークル

初心者から経験者まで大歓迎!! 月3回程度、奥武山サブグラウンドで練習や試合を行っています。マネージャーもいますので男女関係なくご参加下さい。



スポーツ全般サークル

毎週火・金曜日の18~21時までの3時間、体育館でフットサル、バレー、バスケットボールを主な活動としています。先輩・後輩と仲良く毎回楽しく汗を流しています。

充実した教育と快適な学生生活をサポートする



体育館

アリーナや音響室を備えています。曲線を利用した建物は開放感にあふれ、陽光が館内にいっぱい差し込む明るい雰囲気の中で、授業や課外活動を十分に楽しむことができます。



研究・福利棟

1階には学内食堂、自治会室、クラブ室、書店など学生のための各種施設があります。また、2・3階は教員研究室となっていますが、通常の研究活動のほか、授業での不明な点や学生生活の相談を受けるなど、教員と学生がコミュニケーションを保つための大切な場所です。



教育管理棟

キャンパスの中核となる建物です。事務部門や講義室、視聴覚室、各種実習・演習室、情報処理学習室、LL教室などを設けています。とりわけ助産実習室のほか、各種の演習室を個別に設けるなど本学の特色を随所に見ることができます。



恵まれた学習環境

附属図書館



■教育管理棟

図書の区分	図書・視聴覚資料冊数 (概数)	雑誌		その他 逐次刊行物
		日本語 雑誌種数	外国語 雑誌種数	
一般教養	21,000	31	15	
医学	15,000	39	17	
看護	21,000	129	67	
計	57,000	199	99	2,206

- ◎看護学および関連領域の図書・視聴覚資料・雑誌・データベースなどを年々充実させており、看護系資料は県内で最も多く所蔵しています。
- ◎ノートパソコンの館内貸出をはじめ、個室・グループ学習室を学生のために提供しています。緑と光満つ庭園を望む環境は快適で明るく、学生に親しまれている図書館です。
- ◎本学の図書館は九州の公立大学内において、入館者数が最も多く、学生1人あたりの図書貸出冊数も上位となっており、多くの人に利用されています(平成22年度統計)。
- ◎平日は午前9時から午後9時まで利用でき、土曜日・日曜日も開館して学生の便宜を図っています。



▲視聴覚コーナー



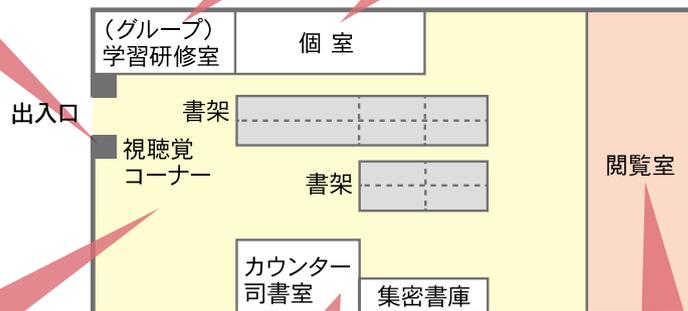
▲(グループ)学習研修室



▲個室



▲図書館前



▲出入口付近からみた館内



▲司書室



▲閲覧室

沿革

平成11年度

- [4月] 沖縄県立看護大学開学
- [6月] 沖縄県立看護大学 後援会設立総会開催
- [7月] 開学記念式典・祝賀会・記念講演を開催
- [11月] 第1回キャンパスフェアを開始
(平成12年度に「看大祭」に改称・以後毎年開催)

平成12年度

- [8月] 第1回オープンキャンパス開催(以後毎年開催)

平成13年度

- [7月] ハワイ大学との学術交流協定締結
- [7月] 第1回海外研修セミナー ハワイ 2001 実施
(3週間・以後毎年実施)
- [10月] 第1回公開講座開始
(平成14年2月以後毎年開催)

平成14年度

- [3月] 第1回卒業式

平成16年度

- [4月] 沖縄県立看護大学大学院 博士前期課程・博士後期課程開設

平成17年度

- [3月] 第1回大学院修了式 博士前期課程
第1期生修了

平成18年度

- [3月] 第2回大学院修了式 博士後期課程
第1期生修了
- [3月] 大学機関別認証評価にて認定

平成20年度

- [4月] 沖縄県立看護大学 別科 助産専攻 開設
- [9月] 文部科学省助成「島嶼環境を活かして学ぶ
保健看護の教育実践」・「島嶼看護の高度実践
指導者の育成」採択
- [10月] 開学 10 周年記念式典・祝賀会・記念
講演を開催

平成21年度

- [7月] 沖縄県立看護大学同窓会統合記念総会
- [9月] 文部科学省助成「看護系大学から発信する
ケアリング・アイランド九州沖縄構想」採択

平成22年度

- [9月] 台北医学大学との学術交流協定締結

平成23年度

- [10月] 文部科学省助成「専門的看護師・薬剤師等
医療人材養成事業」採択
- [11月] 「島しょ・へき地の看護職者の人材養成・人
材確保事業」採択

平成24年度

- [9月] 文部科学省助成「多価値尊重社会の実現に
寄与する学生を養成する教育共同体の構築」
採択

教員一覧

【看護学部】

■教養科目

保健医療情報

- ※教授 金城 芳秀

外国語

- 講師 山城 綾子

■専門教養科目

人体構造・機能学系

- ※教授 安谷屋 均

保健医療学系

- ※教授 新城 正紀

保健社会学系

- ※准教授 渡久山 朝裕

■専門科目

基礎看護

- ※学部長
兼教授 嘉手苺 英子

- ※特任教授 池田 明子
(保健看護管理)

- ※特任教授 蝦名 美智子
(保健看護管理)

- 講師 金城 忍

- ※講師 宮里 智子

- 助教 高橋 幸子

- 助手 伊良波 理絵

小児保健看護

- ※教授 永島 すえみ

- ※准教授 小池 秀子

- ※講師 上原 和代

- 助教 山本 真充

- 助手 宮里 暁乃

母性保健看護・助産

- ※教授 玉城 清子

- 講師 賀数 いづみ

- 講師 井上 松代

- 助教 西平 朋子

- 助手 下中 壽美

- 助手 嘉陽田 友香

成人保健看護

- ※図書館長
兼教授 神里 みどり

- ※准教授 仲宗根 洋子

- ※講師 赤嶺 伊都子

- ※講師 謝花 小百合

- 助教 宮城 裕子

- 助手 玉城 久美子

- 助手 永野 佳世

老年保健看護

- ※学生部長
兼教授 大湾 明美

- ※准教授 佐久川 政吉

- ※講師 田場 由紀

- 助教 山口 初代

- 助手 玉城 咲

精神保健看護

- ※講師 大川 嶺子

- 助教 丸山 義浩

- 助手 大島 泰子

地域保健看護・国際保健看護・

島しょ保健看護

- ※教授 川崎 道子

- ※講師 牧内 忍

- 助教 糸数 仁美

- 助手 與座 千代子

【別科 助産専攻】

- 教授 峰岸 まや子

- 講師 中原 芳子

- 講師 大城 すぎの

※は大学院兼務の教員
(平成25年4月現在)

実習施設

【学部（合計172施設）】

■医療機関 沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター、沖縄県立中部病院、沖縄県立宮古病院、沖縄県立八重山病院、オリブ山病院、独立行政法人 那覇市立病院、沖縄赤十字病院、国立療養所 宮古南静園、国立療養所 沖縄愛楽園、運天産婦人科医院、国立病院機構 沖縄病院、げんか耳鼻科クリニック、医療法人敬愛会 中頭病院、医療法人敬愛会 ちばなクリニック、医療法人友愛会 豊見城中央病院、沖縄県立精和病院、医療法人卯の会 新垣病院、公立久米島病院、助産院ていだ、医療法人がじゅまるの家 糸数病院、社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院、社会医療法人仁愛会 浦添総合病院、社会医療法人仁愛会 浦添総合病院健診センター、医療法人へいあん 平安病院、医療法人海秀会 上村病院、医療法人彩の会やびく産婦人科・小児科、(社)北部地区医師会病院 成人病検診センター、(社)中部地区医師会立 成人病検診センター、財団法人 沖縄県総合保健協会、

■社会復帰施設 社会福祉法人うるま市社会福祉協議会 うるま市地域生活支援センター あいあい、(医)社団志誠会平和病院 社会復帰施設部門、NPO 法人ふれあいセンター、NPO 法人ワークサポートひかり、NPO 法人ふいーるどばわー

■老人福祉系・在宅系施設 那覇市小緑老人福祉センター、那覇市末吉老人福祉センター、那覇市壺川老人福祉センター、那覇市識名老人福祉センター、宮古島市社会福祉協議会、那覇市社会福祉協議会、浦添市社会福祉協議会 いきいき健康クラブ、浦添市老人福祉センター、那覇市安謝老人憩の家、那覇市金城老人憩の家、那覇市辻老人憩の家、医療法人タビック 介護老人保健施設 亀の里、医療法人陽心会 グループホーム たかまーみの家、社会福祉法人沖縄偕成会老人ホーム首里偕成園、(福)久仙会特別養護老人ホームくめしま、(有)介護サービスセンター桃原・宅老所ももの園、デイホーム家福み一家、(福)ゆうなの会グループホームぬくぬくの家、きゅーぬふから舎、ともの家、グループホームこもれび、グループホームピボあいわ、地域支援ホーム津堅いこいの家、グループホームまきや、グループホーム若松ぎのわん、小規模多機能型居宅介護安波茶の家、小規模多機能型居宅介護たかやま、小規模多機能型居宅介護うまんちゅ首里、小規模多機能型居宅介護きづきの家、小規模多機能型居宅介護きやぎ、小規模多機能型居宅介護ノア、小規模多機能型居宅介護花日和、小規模多機能型居宅介護若松きたなかぐすく、小規模多機能型居宅介護和みの里、小規模多機能型居宅介護支援事業所あかゆら、小規模多機能ホームあん、社会医療法人仁愛会在宅総合ケアセンター(有)ちゅら島居宅介護支援事業所、介護福祉施設 しもじ長生園、具志川厚生園、グループホーム大道が丘、(福)与勝福祉会グループホームやすらぎの家、医療法人 HSR 名嘉村クリニック在宅ケアセンター、ケアプランセンターいそ、浦添訪問看護ステーション伊祖、訪問看護ステーションのぞみ、沖縄メディカル訪問看護ステーション、訪問看護ステーション若松、友愛会訪問看護センター、看護協会 居宅介護支援事業所 ていだ、オリブ山居宅介護支援事務所、医療法人アガベ会 グループホームわかまつ、医療法人アガベ会 ケアプランセンターゆい、中部協同病院 居宅介護支援事業所、おもと会 在宅総合ケアセンターなは、沖縄医療生協組合 協同にじクリニック居宅介護支援事業所にじ、とよみ生協病院 指定居宅介護支援事務所、介護老人保健施設 アルカディア、訪問看護ステーション みやこ(宮古島)、看護協会訪問看護ステーションはえばる

■肢体不自由児施設 沖縄整肢療護園、沖縄小児発達センター

■保健所・市町村 沖縄県立北部福祉保健所、沖縄県立中部福祉保健所、沖縄県立中央保健所、沖縄県立南部福祉保健所、沖縄県立宮古福祉保健所、沖縄県立八重山福祉保健所、国頭村立保健センター、今帰仁村保健センター、伊江島医療保健センター、金武町総合保健福祉センター、北谷町保健相談センター、宜野湾市保健相談センター、浦添市保健センター、大宜味村役場、本部町役場、国頭村役場、今帰仁村役場、北中城村役場、名護市役所、西原町役場、多良間村役場、渡嘉敷村役場、渡名喜村役場、東村役場、北谷町役場、中城村役場、宜野湾市役所、浦添市役所、

金武町役場、恩納村役場、与那原町役場、粟国村役場、うるま市役所、宜野座村役場、沖縄市役所、読谷村役場、嘉手納町役場、那覇市役所、糸満市役所、豊見城市役所、八重瀬町役場、南城市役所、南風原町役場、久米島町役場、座間味村役場、宮古島市役所、石垣市健康福祉センター、竹富町役場

■保育所・学校 那覇市立 大道保育所、那覇市立 若狭浦保育所、那覇市立 与儀保育所、那覇市立 久場川保育所、那覇市立 宇栄原保育所、那覇市立 めおと橋保育所、那覇市立 当蔵保育所、那覇市立 松川保育所、那覇市立 樋川保育所、那覇市立 赤平保育所、那覇市立 泊保育所、よぎ南保育園、さくら保育園、社会福祉法人城北保育園、社会福祉法人 報徳福祉会 童の城保育園、社会福祉法人 報徳福祉会 石嶺保育園、社会福祉法人 郵住協福祉会 安謝保育園、社会福祉法人 那覇垣花福祉会 鏡原保育園、社会福祉法人 養秀福祉会 琴の音保育園、社会福祉法人 玉重福祉会 第2 愛心保育園、オレンジ保育園、風のうた保育園、沖縄県立泡瀬特別支援学校、那覇市立首里中学校、那覇市立松島中学校、那覇市立古波蔵小学校、那覇市立石嶺小学校

【大学院（合計39施設）】

■医療機関 国立大学法人琉球大学医学部附属病院、沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター、沖縄県立中部病院、沖縄県立宮古病院、沖縄県立精和病院、沖縄県立八重山病院、独立行政法人 那覇市立病院、社会医療法人仁愛会 浦添総合病院、医療法人社団 碧水会 長谷川病院、医療法人敬愛会 中頭病院、医療法人友愛会 豊見城中央病院、波照間診療所、医療法人へいあん 平安病院、医療法人卯の会 新垣病院、医療法人 沖縄徳州会 伊良部島診療所、医療法人がじゅまるの家 糸数病院、公立久米島病院、DrGON 診療所、総合病院土浦協同病院(茨城)、慶應義塾大学病院(東京)、国立循環器病研究センター(大阪)、多良間村社会福祉協議会、かみや母と子のクリニック、おおそこ助産院、医療法人 杏月会 ALBA OKINAWA CLINIC、助産院 ていだ

■市町村 竹富町役場、渡名喜村役場、座間味村 地域包括支援センター、石垣市 健康福祉センター、宮古島市 平良保健センター

■福祉在宅系施設 葦の会 オリブ山在宅総合ケアセンター、有限会社 介護サービス恵和

■海外 グアム大学看護保健学部、グアム家族保健・看護サービス局、グアム・メモリアルホスピタル、サイパン・コモンウェルス・ヘルスセンター、マリアナヘルスサービス(サイパン島)、テニアンヘルスセンター(テニアン島)

以上(2013年4月現在)

平成26年度 学生募集要項について

1. 学生募集要項の配付時期について

- (1)学部「特別選抜学生募集要項」平成25年 8月下旬(公表後)
- (2)学部「一般選抜学生募集要項」平成25年 9月下旬(公表後)
- (3)大学院「学生募集要項(博士前期・後期)」平成25年 7月中旬(公表後)
- (4)大学院「学生募集要項(博士前期):包括的専門看護師」平成25年 7月中旬(公表後)
- (5)別科助産専攻「学生募集要項(推薦選抜・社会人特別選抜)」平成25年 8月下旬(公表後)
- (6)別科助産専攻「学生募集要項(一般選抜)」平成25年 9月下旬(公表後)

2. 学生募集要項の請求方法について

各募集要項は下記により配付します。

【1】大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、沖縄県立看護大学ホームページ(<http://www.okinawa-nurs.ac.jp/>)をご覧ください。

【2】テレメールで請求する場合

①下記番号に電話し、音声ガイダンスに従うこと。



IP電話 050-8601-0101
(24時間受付)
※IP電話:一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

②本学の資料番号

- (ア) 568202 (大学案内)
- (イ) 568222 (入学者選抜要項)
- (ウ) 588202 (募集要項(一般選抜))
- (エ) 588212 (募集要項(特別選抜))
- (オ) 548302 (大学案内・募集要項(一般選抜))

【3】インターネットや

携帯電話で請求する場合

- ①【<http://telemail.jp/>】
- ②携帯用請求バーコード
※対応する携帯電話で読み取れます。



【4】郵便局で「学生募集要項」を請求する場合

(10月より案内開始)

10月より郵便局に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて最寄りの郵便局に申し込むこと。受付から1週間程度で送付されます。

【5】本学へ郵送により「学生募集要項」等を請求する場合

- ①封筒の表に請求する募集要項の名称(上記1参照)を朱書すること。
- ②返信用封筒(角型2号・33cm×24cm)を同封すること。なお、返信用封筒には、あて先(請求者の郵便番号、住所、氏名)を明記し、240円切手(速達希望者の場合は510円切手)を貼付すること。

※一度ご利用になられた暗証番号(4桁)は送料をお支払いいただく際に必要になりますので必ず控えておいて下さい。また繰り返しテレメールをご利用いただく際にも便利です。

資料は受付から2、3日で送付されます。ただし、郵送開始日までのご請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に郵送します。送料は、お届けした資料に同封の支払方法に従いお支払い下さい。

※電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話し下さい。登録された音声不鮮明な場合は到着まで時間がかかる場合があります。

▲前記【1】【2】【3】【4】の請求方法についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター／ TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

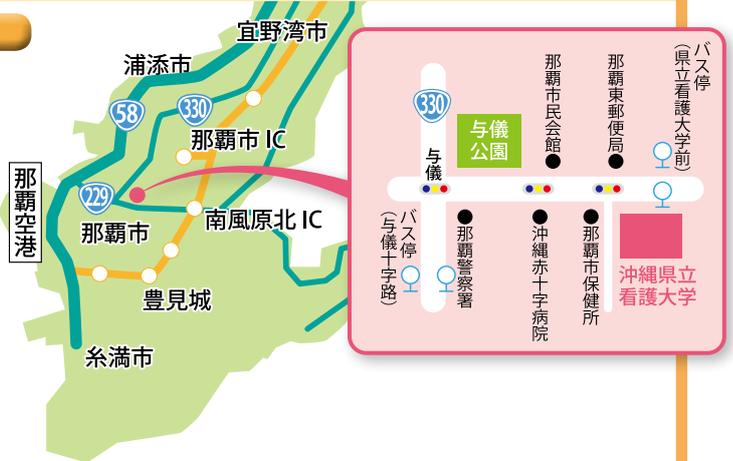
アクセスマップ

【タクシー利用】

(那覇空港～本学) 所要時間約30分

【モノレールとバスの利用】

- ◎モノレール(那覇空港～旭橋駅)
那覇空港より沖縄都市モノレール(ゆいレール)で旭橋駅下車、那覇バスターミナルまで徒歩3分。モノレール所用時間11分(10分間隔)
- ◎バス(那覇バスターミナル～本学)
 - ①35,40,100,109番に乗車、県立看護大学前下車
バス所要時間約15分(15～20分間隔)
 - ②33,34,37,38,39,41,46,50,51,53,54,83,89番に乗車、与儀十字路下車、徒歩5分。
バス所要時間約13分(5～10分間隔)
- 最寄りのバス停: ①県立看護大学前
②与儀十字路



沖縄県立看護大学 〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号
TEL (098) 833-8800 FAX (098) 833-5133